



関西大学南千里国際プラザが竣工



阪急千里線「南千里」駅近くに開設される関西大学南千里国際プラザ

関西大学は新たな国際化構想の一環として、2012年4月に関西大学留学生別科を開設する。その教育施設と留学生寮が併設される関西大学南千里国際プラザが2月20日に竣工した。阪急千里線「南千里」駅から徒歩約5分、関西大学のメイン・キャンパスから自転車で約15分の便利なところに、留学生が勉学に専念できる環境が整った。

留学生別科では、ICT(情報通信技術)やe-ラーニングを授業内・授業外の学習に活用し、学生の日本語能力と情報活用能力を同時に養成する。そのため、教室棟は全館、また中庭や寮棟の共用部門にも無線LANを完備している。

大学トップマネジメントフォーラム2011開催



「大学トップマネジメントフォーラム2011 今こそ問われる大学の使命～変容する社会とこれからの人材育成～」(朝日新聞社主催)が2011年12月11日、品川インターシティホール(東京都港区)で開催され、楠見晴重学長がパネリストとして出席した。本学のほか、神奈川大学、中央大学、東京理科大学、東洋大学、法政大学、明治大学、早稲田大学の計8大学が参加した。

第1部では、グーグル日本法人前社長でアレックス株式会社代表取締役社長兼CEOの辻野晃一郎氏が基調講演。第2部では、朝日新聞社の山上浩二郎氏をコーディネーターにパネルディスカッション。楠見学長は日本初の社会安全学部の役割を述べ、アジアのハブ大学を目指し、「考動力」を身につけた学生を育てたいと語った。

「社会安全研究科博士課程後期課程」設置認可

関西大学大学院社会安全研究科博士課程後期課程の設置について、2011年10月24日、文部科学省から認可を受けた。同前期課程は2010年4月に、社会安全学部と同時に高槻ミュージックキャンパスに開設。東日本大震災は、巨大自然・社会災害における政府・自治体・企業の危機管理に資する人材の必要性を如実に示した。社会安全研究科は、安全な社会を実現するために複数の関連分野の学際融合研究を通して社会安全研究領域を創設し、防災・減災および事故防止に寄与できる実践力のある人材を養成することを目的としている。

馬術部の山田晃嗣さんが全日本障害馬術大会優勝

日本中央競馬会・馬事公苑で開催された第63回全日本障害馬術大会において、体育会馬術部の山田晃嗣さん(政策1)が2011年11月20日、全日本障害飛越選手権の部で優勝した。全日本障害馬術大会で学生が全国制覇を成し遂げたのは、大会の長い歴史の中で31年ぶり2人目の快挙とのこと。山田さんは高校1年生で大分国体・二段階障害飛越の少年の部で優勝、翌年の新潟国体・リレーの少年の部でも優勝。2007年から3年連続で全日本学生を制した関大のレベルの高さと、元五輪代表・若原尚総監督の指導力が決め手となって入学した山田さんは、頼もしいパートナーのカルピノZに感謝しつつ、今年のインカレ優勝を目指している。



写真提供：関大スポーツ編集局

関西大学中等部の宮原知子さんがフィギュアの全日本ジュニア選手権で総合優勝



関西大学中等部2年生でアイススケート部の宮原知子さんが、2011年11月26日・27日に青森県八戸市で開催された全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会女子シングルで、SP・フリーともに1位で総合優勝を果たした。同大会で浅田真央選手が挙げた記録を超える172.17点の大会新記録で圧勝した。

また、12月24日・25日に大阪府門真市のみみはやドームで開催された第80回全日本フィギュアスケート選手権にも出場。SPでは15位と出遅れたが、フリーでは3回転ジャンプを次々に決め、出場者の中で最年少ながら、鈴木明子選手、浅田真央選手に次ぐ3位となり、総合では6位となった。その結果、2月末にベラルーシ・ミンスクで開催の世界ジュニア選手権日本代表に選出された。宮原さんは2014年ソチ五輪に出場できる一番下の世代の女子選手として注目されている。